

道路・河川

提案・意見

度会橋及び市街地の交通渋滞

日常的に度会橋及び市街地で、帰宅時間の交通渋滞が発生しています。玉城町内に勤務する伊勢市在住労働者が一斉に帰宅することによるものと考えられます。高速道路の通行料金の値下げが叶えば交通渋滞は緩和されると考えます。緊急車両の出動にも影響する様な状態は早急に解消する必要があると考えます。

回答

今回ご提案いただきました度会橋及び市街地の渋滞緩和のために高速道路の通行料金の値下げを行うことにつきまして、高速道路の管理者であります中日本高速道路株式会社（NEXCO中日本）に問い合わせをしたところ、次のとおりの回答がありましたのでお伝えさせていただきます。

【NEXCO中日本からの回答】

高速道路の料金につきましては、法律にもとづき、高速道路の建設費、管理費及び借入金に対する利息などの費用を料金徴収期間内に償還でき、社会的に見て妥当で合理的と考えられる水準で料金を設定しております。

また、高速道路の料金割引につきましては、政府の緊急経済対策として実施していた割引が平成26年3月末に期限を迎えたことに伴い、国土交通省から発表された『新たな高速道路に関する基本方針』（平成25年12月20日）に基づき、平成26年4月に見直しました。

見直しにあたっては、限られた財源のなかで、料金割引の実施目的を明確にしたうえで、効果が高く重複や無駄のない割引とするとともに、生活対策、観光振興、物流対策などの観点を重視しつつ、高速道路の利用機会が多い車に配慮しております。

なお、現在、通勤時間帯等におきましては、平日朝夕割引（午前：6時～9時、午後17時～20時）を実施しておりますのでご活用いただければと考えております。

今回、お客様からいただきました貴重なご意見につきましては、今後の業務の参考とさせていただきます。

今後ともNEXCO中日本をよろしくお願い申し上げます。

担当課

交通政策課（2019年3月回答）〔3/25～29〕

その他

提案・意見

いせ市民活動センターへの団体登録について

先日、自治会の資料を印刷しなかったため、いせ市民活動センターにある印刷機を利用しようと思い、センターへ登録の問い合わせをしたところ、『登録できるのはボランティア団体のみで、自治会は登録できません。』という回答でした。ホームページに登録できる団体の要件が載っていますが、自治会はすべての要件を満たしており登録可能であると考えます。また、多くの市町村では自治会を市民公益活動団体として位置付けておりますが、伊勢市では自治会をどのような組織と考えているのでしょうか。見解をお伺いします。

回答

いせ市民活動センターは、広く市民公益活動団体のために設置しておりますが、資金援助無く活動する市民活動団体に対し、自立性を損なわない範囲で支援するため、登録制度を設け、有料で各種備品やスペースの貸し出し等を行っています。継続的に行政、企業、その他特定団体からの補助金等を受けている団体は登録の対象ではないため、自治会も対象外となります。

今後、自治会やまちづくり協議会と市民活動団体は、互いに近づき、また連携し合う時期が来ると考えております。しかし、成り立ちや抱えている課題が異なるため、いせ市民活動センターの登録制度に自治会等を組み込むには、まだ相当の時間が必要と考えております。

ホームページの記載が説明不足で、誤解を招いてしまいましたことを、お詫び申し上げます。

いただいたご意見を踏まえ、登録団体の条件に「継続的に行政、企業、その他特定団体からの補助金等を受けている団体は登録の対象外」と明記させていただきます。

なお、輪転機ではなくコピー機でしたら、登録団体でなくても利用可能です（1枚10円）。こちらについても、登録団体以外でも利用可能なサービスを明示するように改善してまいります。

担当課

市民交流課（2019年3月回答）〔3/25～29〕

ごみ

提案・意見

廃棄電池の処理について

廃棄電池やボタン電池はどのように処理し再生されるのでしょうか。

廃棄する時はホームセンターで頼みますが、本来ならどこえ持ち込んだらよいのでしょうか。

回答

廃棄電池やボタン電池の処理方法につきましては、支所、公民館等に設置してある指定容器へ電池の＋極と－極にセロテープ等を貼り絶縁してお出してください。

小型充電式電池（ニカド電池、ニッケル電池、リチウムイオン電池）につきましては、販売店の回収ボックスへお出してください。

再生状況につきましては、清掃工場で一時的保管した後、再商品化工場にて亜鉛地金原料や製鉄原料としてリサイクルされます。

今後ともごみの減量・再資源化にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

担当課

清掃課（2019年3月回答）〔3/25～29〕

ごみ

提案・意見

ペットボトル等の廃棄処理について

ペットボトルやプラは、伊勢市では廃棄処理はどうしているのでしょうか。

ペットボトルは軽油の燃料になると想っていたが、ながらく中国へ輸出していたと聞く。

ペットボトルやプラの廃棄について、伊勢市は焼却するのでしょうか。

回答

ペットボトルにつきましては、清掃工場で一時的に保管した後、再商品化工場にて繊維製品や卵パックの原料としてリサイクルされます。

プラスチック製容器包装につきましては、清掃工場で圧縮梱包した後、再商品化工場にて文具類・日用雑貨などのプラスチック製品の原料としてリサイクルされます。それ以外のプラスチック製品は、清掃工場にて焼却されます。

今後ともごみの減量・再資源化にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

担当課

清掃課（2019年3月回答） [3/25～29]

その他

提案・意見

伊勢総合病院の交通手段

昨年末、母が救急搬送で伊勢病院にお世話になりました。手当を受けて、20時頃にを自宅に連れて帰ろうとしたところ、タクシーが呼べません。

病院内に掲示してあるタクシー業者（6か所）に電話しましたがすべて今は空きがないと断られてしまいました。

呼べないなら、タクシーで病院に来られた方のを捕まえるしか思い浮かばなかったのですが、こんな時間にタクシーで来られる方は、おられません。

しばらく待ちましたが、早く連れて帰って休ませたかったので仕方なく、自宅にいた家族に連絡し、駅に待機していたタクシーに乗って迎えに来てもらい何とか連れ帰ることができました。

高齢のため今年免許を返上した父が車があったらなあ…とすまなそうにした姿が辛かったです。

救急搬送で見てもらった後、帰宅したいがタクシーが呼べない。または高齢者のみ家族、観光客等で車を持っていない人が伊勢病院を利用した際にもこのようなことはあります。

何か対策をしていただけませんかでしょうか。

よろしく願います。

回答

御来院の際はご苦勞をおかけいたしました。

伊勢市交通政策課から、市内のいくつかのタクシー事業者に現状を確認しましたところ、乗務員の高齢化や運転者不足、働き方改革の実現による長時間労働の是正などの理由から、現在、タクシーの配車依頼があっても、時間帯によっては、配車が難しい状況となっています。

特に、早朝や夕方は、他の利用客からの依頼が重なることが多く、また、夜間については、営業時間外のためタクシーを運行していなかったり、あるいは、少ない台数で運行していることから、配車まで時間がかかったり、配車をお断りする場合がありますとのことでした。

今後も、タクシー事業者によるサービス提供については、現状の状態が続くことが予想されます。

今回いただきましたご意見については、タクシーを利用したい全ての市民、観光客の方に関わる問題であり、すぐに解決できる問題ではありませんが、市として取り組めることがないかどうかについても検討してまいりますので、申し訳ございませんが、御理解いただきますようお願いいたします。

担当課

伊勢総合病院総務課
交通政策課

(2019年3月回答) [3/25~29]

その他

提案・意見

高齢化社会に関する意見

私は77歳の高齢者（男性）です。高齢社会に対する提案をしたいと思いをします。思いつくまま列挙します。

①高齢者の割合が大きくなり、行政（税）では対応しきれなくなることを市民全体に認識させる。現状は国や地方行政の政策を含めて高齢者を甘やかすすぎている。高齢者に対して強い要求や指導ができていない。これは選挙に悪影響するからであることは明確。

②高齢者は自分で生きてゆかねばならないと自覚させる。未来、起こるであろう状態を具体的な数値で示す。

③まず、健康で過ごすべき指導や環境を整備する。（特に医療費の削減に効果があることを目指す。）

④一案として、休耕地の活用を提案したい。どの様に活用するかは具体案はもちあわせていないが、高齢になっても野菜や花を育てることは認知症予防や健康になることは実証済み。

⑤上記以外にも老人を活用できる場は沢山あるだろう。

⑥私の周囲にも元気で暇をもてあましていると思える高齢者は沢山いる。私はゴルフをしているがほとんどのメンバーが70歳以上で、80歳を超えた方も結構いる。真夏の炎天下でも真冬の寒さでも休む人はいない。

⑦重要な事は高齢者が自主的に行動を起こすことで、人望のある指導者が必要である。（例：老人の会を立ち上げた、故、日野原重明 先生）

以上

回答

伊勢市では、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域づくりを推進するため、地域に出向き伊勢市の現状と未来について周知を図っているところです。

伊勢市の高齢化率は平成31年2月末現在で31%を超え、介護保険に係る費用も増えていることから、健康寿命の延伸を目的とした「健幸ポイント事業」や認知症予防・健康づくりなど介護予防の取り組みを推進しています。

更に、これからは行政で行う公的なサービス以外にも、市民自らが自分のできる事は自分で行う「自助」の意識と、地域の課題を地域が自ら把握し、解決していく「互助」の取り組みは大変重要となります。

この「自助」「互助」の取り組みを支援するため、地域活動のきっかけづくりを目的とした「生活支援サポーター養成講座」、地域住民組織などが行う生活援助や集いの場などへの補助や、地域活動の相談支援を行う「生活支援コーディネーターの配置」を行っています。

地域の特性に応じて課題は様々ですので、地域の方々と共に話し合い、ご提案いただいたご意見を参考にしつつ、地域課題の解決方法を検討していきたいと考えています。

伊勢市の取組状況や各種サポーター養成講座の開催については、広報やホームページに掲載していますが、更なる周知を図っていきます。

是非、地域の話し合いの場にご参加いただき、地域のリーダーとしてご活躍いただきたいと思います。

担当課

高齢者支援課（2019年3月回答） [3/25～29]

上下水道

提案・意見

水道事業の民間委託について

水道事業者が給水にかかる費用を料金収入にまかなえない原価割を起こしている。

そこで2018（平成30）12月に「コンセッション」方式の推進を柱とした改正水道法が国会で成立した。

水道事業の基盤強化に向け、自治体の広域連携と運営権を民間企業に売却するとの事。

つまり地中の配管が古く敷設するのに金がかかり民間に委託させ認可を得れば水道事業を運営する事ができる。

水道が外資に売り渡されるという誤解もあるが、導入するかどうかは各自治体で決めるという。伊勢市はどうか。日本は地震や水害、台風などの災害が多く、自治体が水道設備や配管をその都度、税金で修理し利益は民間に吸い上げる構造にならないか。災害が起きた時、自治体は動ごけなくなりはないか。

民間になると地域独占になりはないか。

水メジャーの仏グオリア等に国の権利をいともたやすく他国に売り渡すのか。伊勢をどちらに進まそうとするのか鈴木市長に聞きたい。

回答

伊勢市水道事業での官民連携につきましては、現在、水道料金の徴収や水源地の管理業務等、業務の一部を民間委託しております。今後も将来にわたって、安全で安心してご利用いただける体制づくりに向けて、適正な官民連携のあり方について検討をしていきます。

広域連携につきましても、現在、三重県が実施している「水道事業基盤強化勉強会」に参加し、引き続き参考事例の研究を県と共に進めて行きます。

また、平成30年度に水道事業の運営基盤強化のため水道事業の計画「伊勢市水道事業ビジョン」の策定をしました。ビジョンの中でも検討・研究においては慎重に取り組んでいく事としております。今後とも水道事業に対しまして、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

担当課

上水道課（2019年3月回答） [3/25～29]

上下水道

提案・意見

外国への水の売り込みについて

中電がカタールへLNGを買付するのにタンカーは空の状態現地へ行きます。そこで中電の船を伊勢市が借り、宮川の水を船に入れカタールの現地へ行き一度タンクへ注入し、フィルターできれいな状態にしてサウジアラビア、イラン、イラクへ水を売り込むという漫画みたいな話はどうですか。

せっかく地下からお宝の原油がある国が内戦やら人の殺し合いをして原油価を1バレル100\$まで上昇させといて、ガソリン価格1リットル145円（三重県平均2018.3）にするなんてバカげている。

うまくいけば日本の地方自治体で東京の次くらいに財政が豊かになる。

回答

水道事業運営に関して、安定した事業経営を行っていくために自主財源の確保は重要であると考えています。今回頂いた提案に限らず、様々な手法や方策を検討していきたいと思えます。

担当課

上水道課（2019年3月回答） [3/25～29]